

2026年3月期 決算補足資料

自 2025年4月1日 至2026年3月31日

2026年5月14日
証券コード:4093

Table of Contents

- 01- 連結決算業績
- 02- セグメント別業績
- 03- 連結貸借対照表
- 04- 連結キャッシュ・フロー
- 05- 配当金及び配当性向
- 06- 通期の連結業績予想

01 連結決算業績

- ▶ 製氷機関連事業は堅調に推移しましたが、ガス関連・器具器材関連事業などの需要が減少したことから減収となりました。

利益面では、人件費、物流費などのコスト上昇の影響もあり減益となりました。

	2025年3月期	2026年3月期	前期比	増減率
売上高	34,804	34,576	△227	-0.7%
売上総利益	10,974	11,242	268	2.4%
売上総利益率	31.5%	32.5%	1.0%	—
営業利益	1,914	1,900	△14	-0.8%
営業利益率	5.5%	5.5%	-0.0%	—
経常利益	2,170	2,109	△61	-2.8%
経常利益率	6.2%	6.1%	-0.1%	—
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,287	1,286	△0	-0.0%

(百万円)

01 連結決算業績

売上高

前期比

0.7%減

227 百万円 ↘

売上高は345億76百万円と前期に比べ2億27百万円(0.7%)の減少となりました

営業利益

前期比

0.8%減

14 百万円 ↘

営業利益は19億円と前期に比べ14百万円(0.8%)の減少となりました

経常利益

前期比

2.8%減

61 百万円 ↘

経常利益は21億9百万円と前期に比べ61百万円(2.8%)の減少となりました

親会社株主に帰属する当期純利益

前期比

0.0%減

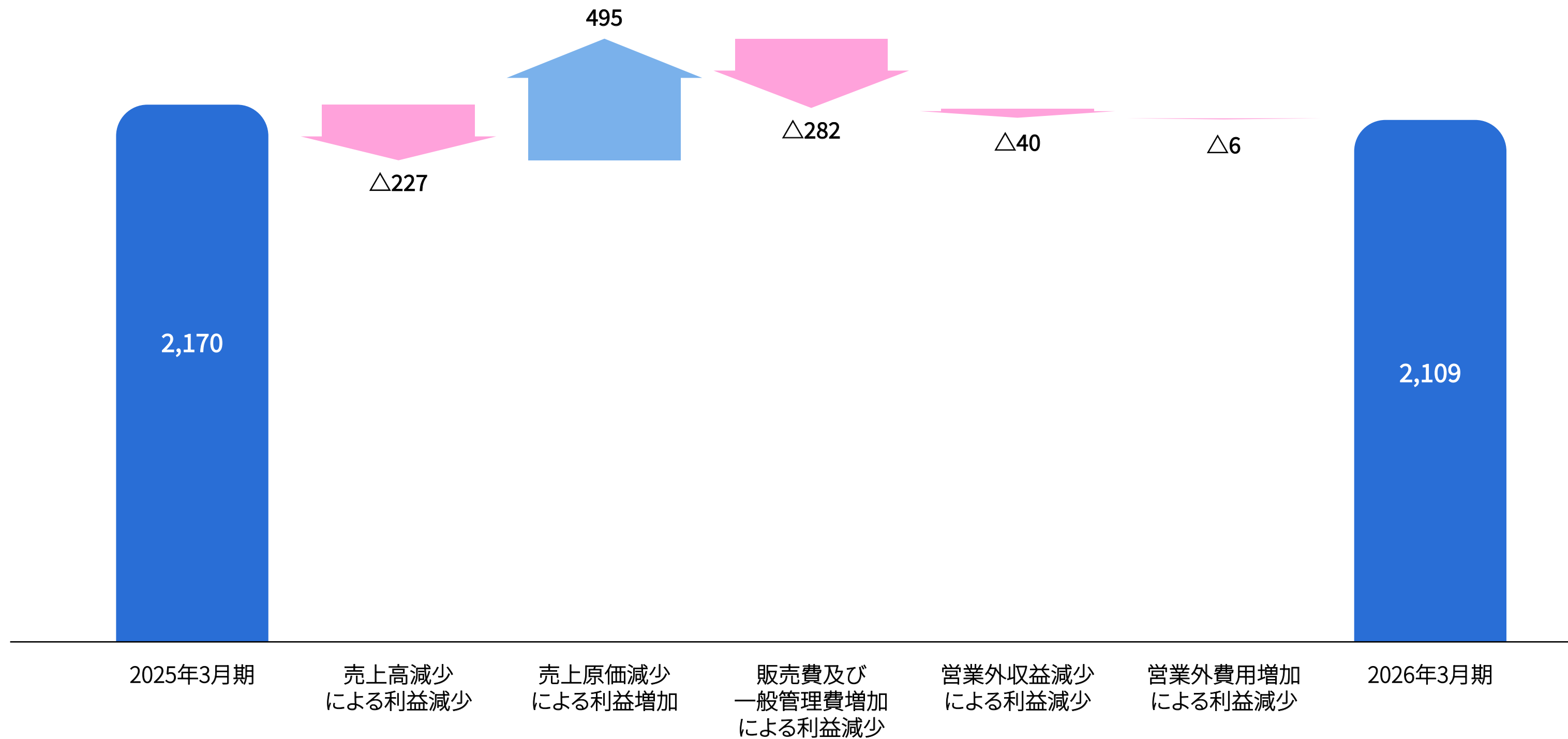
0 百万円 →

親会社株主に帰属する当期純利益は12億86百万円と前期に比べ0百万円(0.0%)の減少となりました

01 連結決算業績

経常利益

(百万円)



02 セグメント別業績

(百万円)

	2025年3月期	2026年3月期	前期比	増減率	主な取り扱い製品	
ガス関連事業	売上高	21,160	20,638	△522	-2.5%	酸素、窒素、アルゴン、 液化石油ガス
	セグメント利益	1,917	1,909	△8	-0.4%	
エスプーマ関連事業	売上高	1,760	1,786	26	1.5%	食品用ガス、食品関連器材
	セグメント利益	536	521	△14	-2.7%	
器具器材関連事業	売上高	9,513	9,227	△286	-3.0%	溶接材料、溶接切断器具、 生活関連器具
	セグメント利益	332	262	△69	-21.1%	
自動車機器関連事業	売上高	997	953	△44	-4.4%	自動車部品メーカーの 設備投資
	セグメント利益	22	13	△9	-41.5%	
製氷機関連事業	売上高	1,102	1,706	603	54.7%	製氷・冷凍機械 等
	セグメント利益	207	321	113	54.7%	
その他	売上高	269	265	△4	-1.7%	医療機器 等
	セグメント利益	56	53	△2	-5.2%	
合計	売上高	34,804	34,576	△227	-0.7%	
	セグメント利益	3,072	3,080	8	0.3%	
調整額※	△1,157	△1,180	△23	2.0%		
営業利益	1,914	1,900	△14	-0.8%		

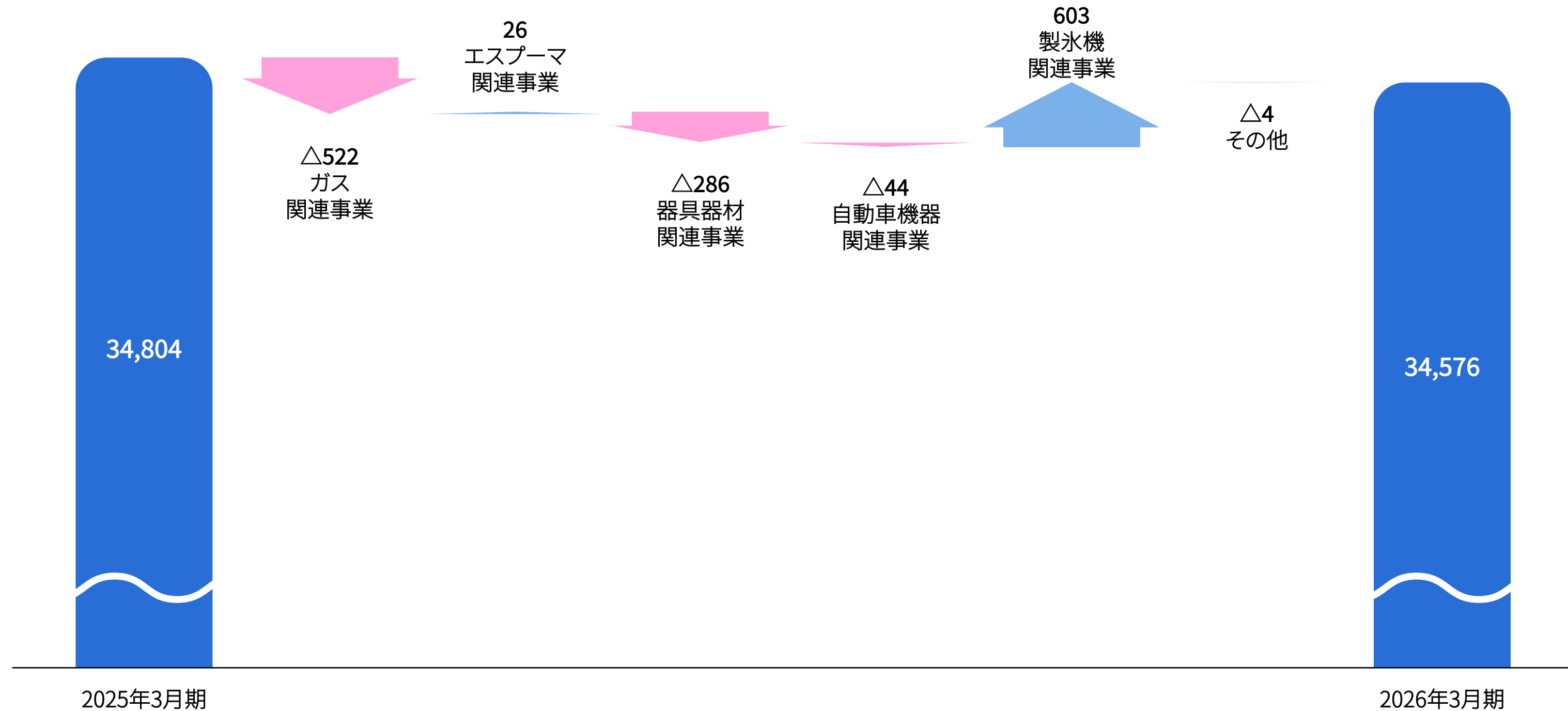
※調整額は全て全社費用です。

全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費です。

02 セグメント別業績

売上高

(百万円)



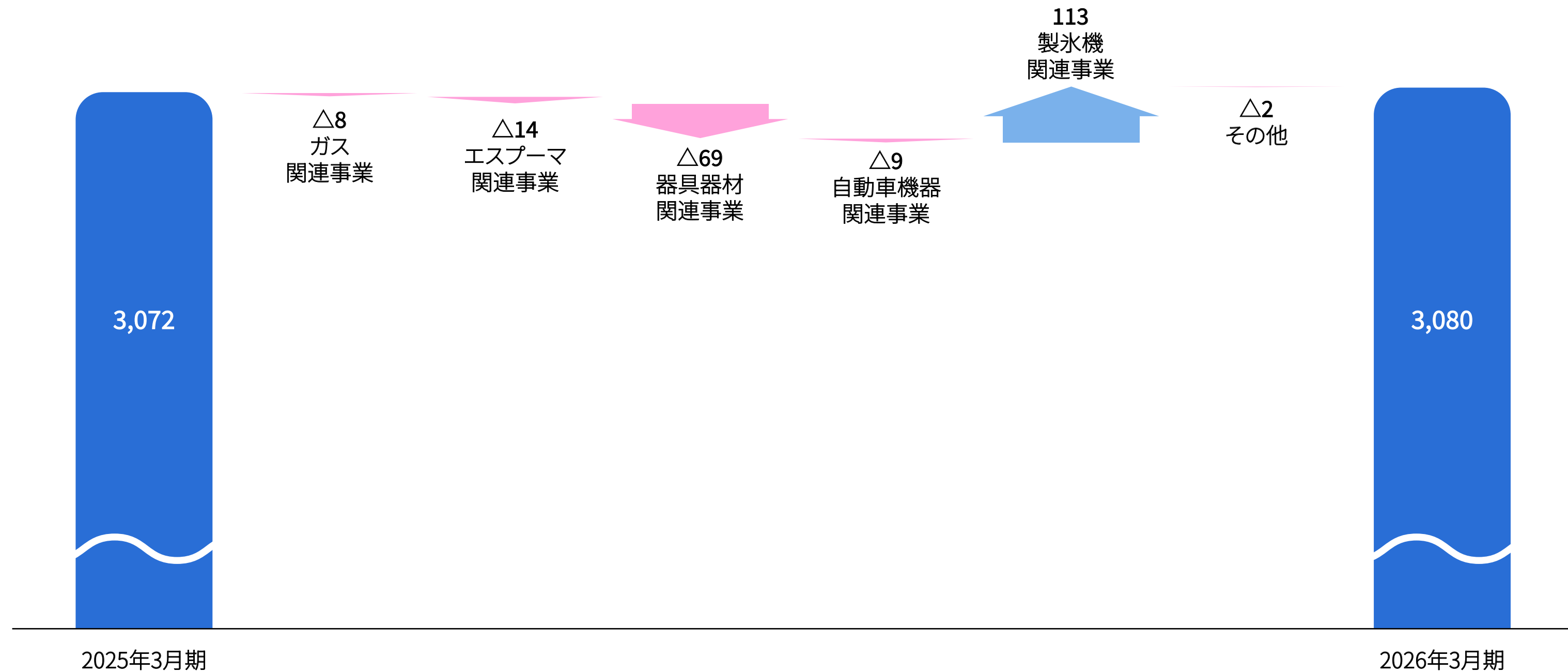
2025年3月期

2026年3月期

02 セグメント別業績

営業利益

(百万円)

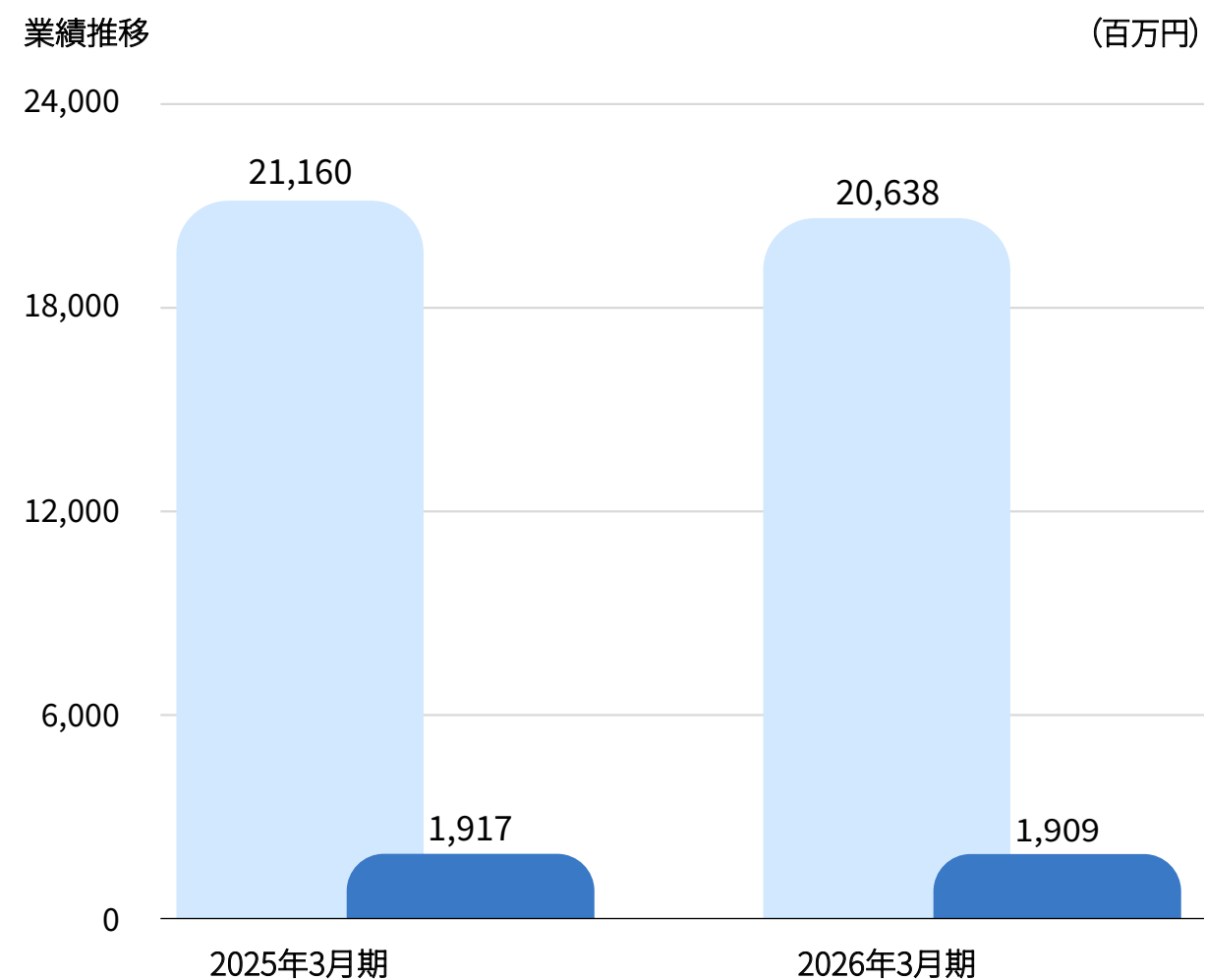


※報告セグメントに帰属していない販売費及び一般管理費は含んでおりません。

02 セグメント別業績



ガス関連事業



		2025年3月期	2026年3月期	前期比	増減率
ガス 関連事業	売上高	21,160	20,638	△522	-2.5%
	セグメント 利益	1,917	1,909	△8	-0.4%

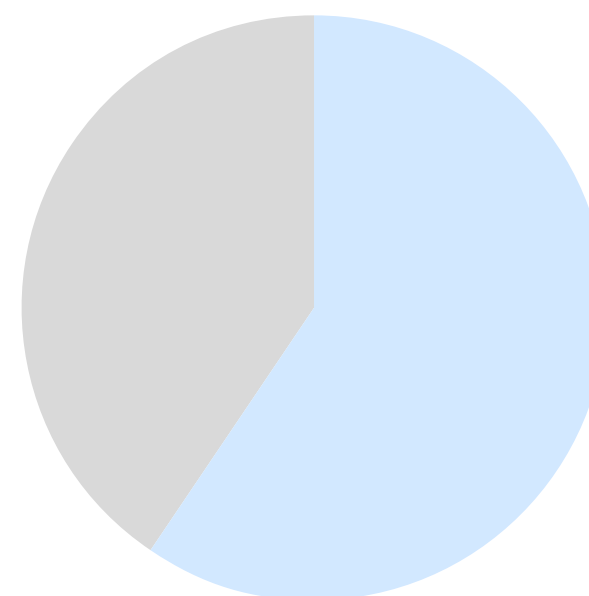
(百万円)

概況

石油類は工業用向け、炭酸は自動車関連向け、水素は石英加工向けに需要が増加しました。一方で、酸素及び窒素は前年のスポット需要がなくなり減少、液化石油ガスは出荷数量が増加しましたが輸入価格の変動に伴い販売価格が下落したことから、売上高は減少しました。
また、前年に実施した多賀城工場の大規模定期修理がなかったことで売上原価が減少し売上総利益は増加しましたが、人件費の増加、運搬費の上昇等に伴い販売費及び一般管理費が増加したことにより営業利益が減少しました。

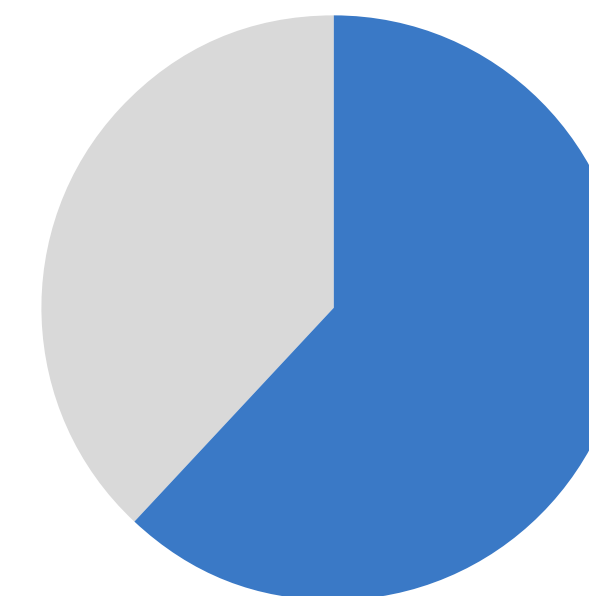
売上構成比率

59.7%



営業利益構成比率

62.0%

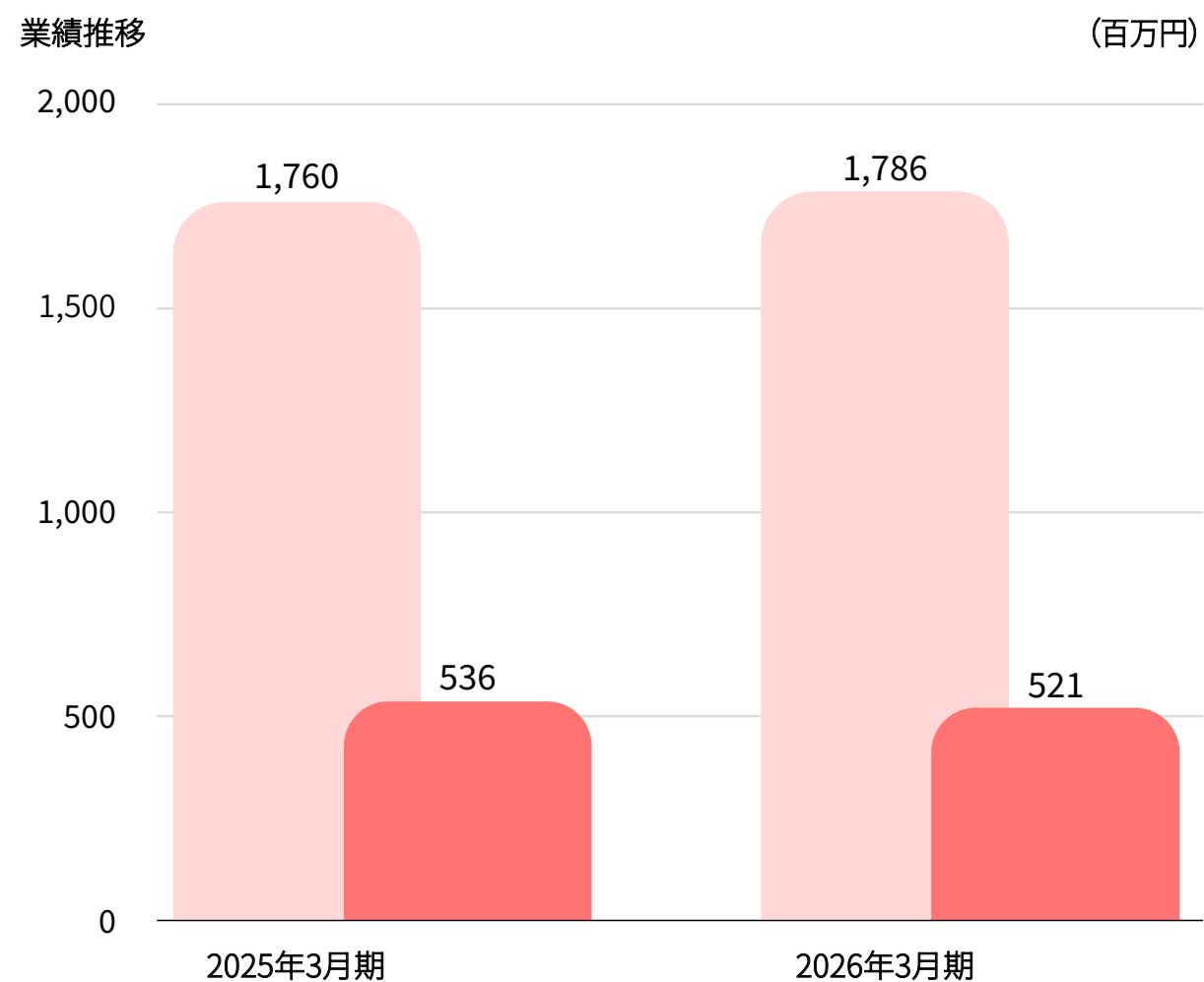


※報告セグメントに帰属していない販売費及び一般管理費は含んでおりません。

02 セグメント別業績



エスプーマ関連事業



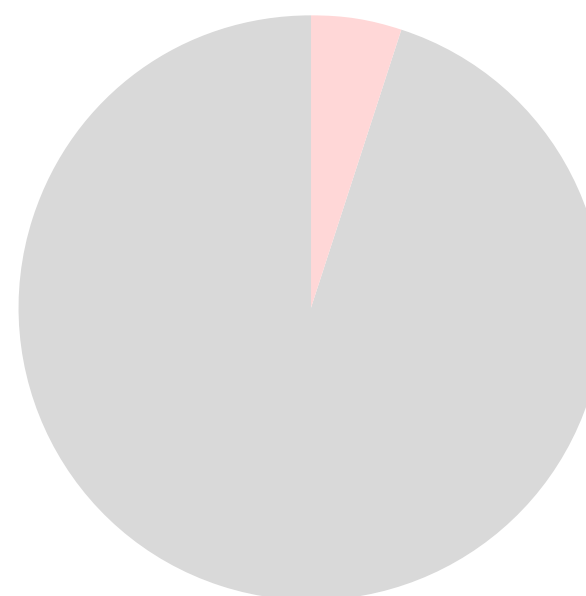
		2025年3月期	2026年3月期	前期比	増減率
エスプーマ 関連事業	売上高	1,760	1,786	26	1.5%
	セグメント 利益	536	521	△14	-2.7%

(百万円)

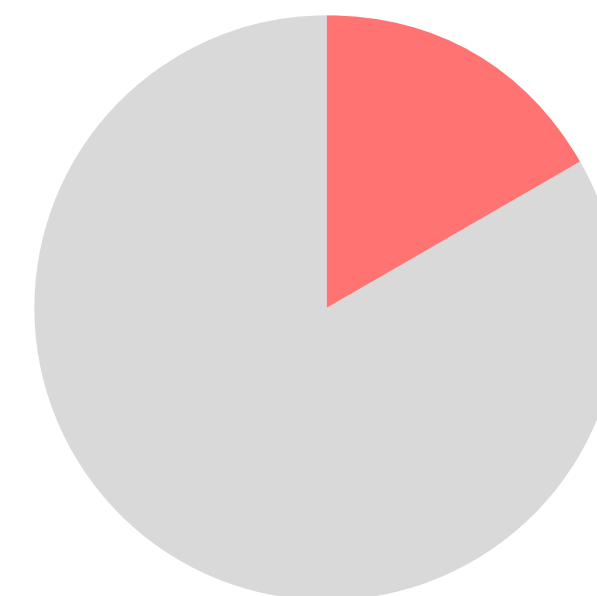
概況

売上高は、前連結会計年度並みに推移しましたが、営業利益は、運搬費の上昇、食品用ガス容器購入等に伴い販売費及び一般管理費が増加したことにより減少しました。

売上構成比率
5.2%



営業利益構成比率
16.9%

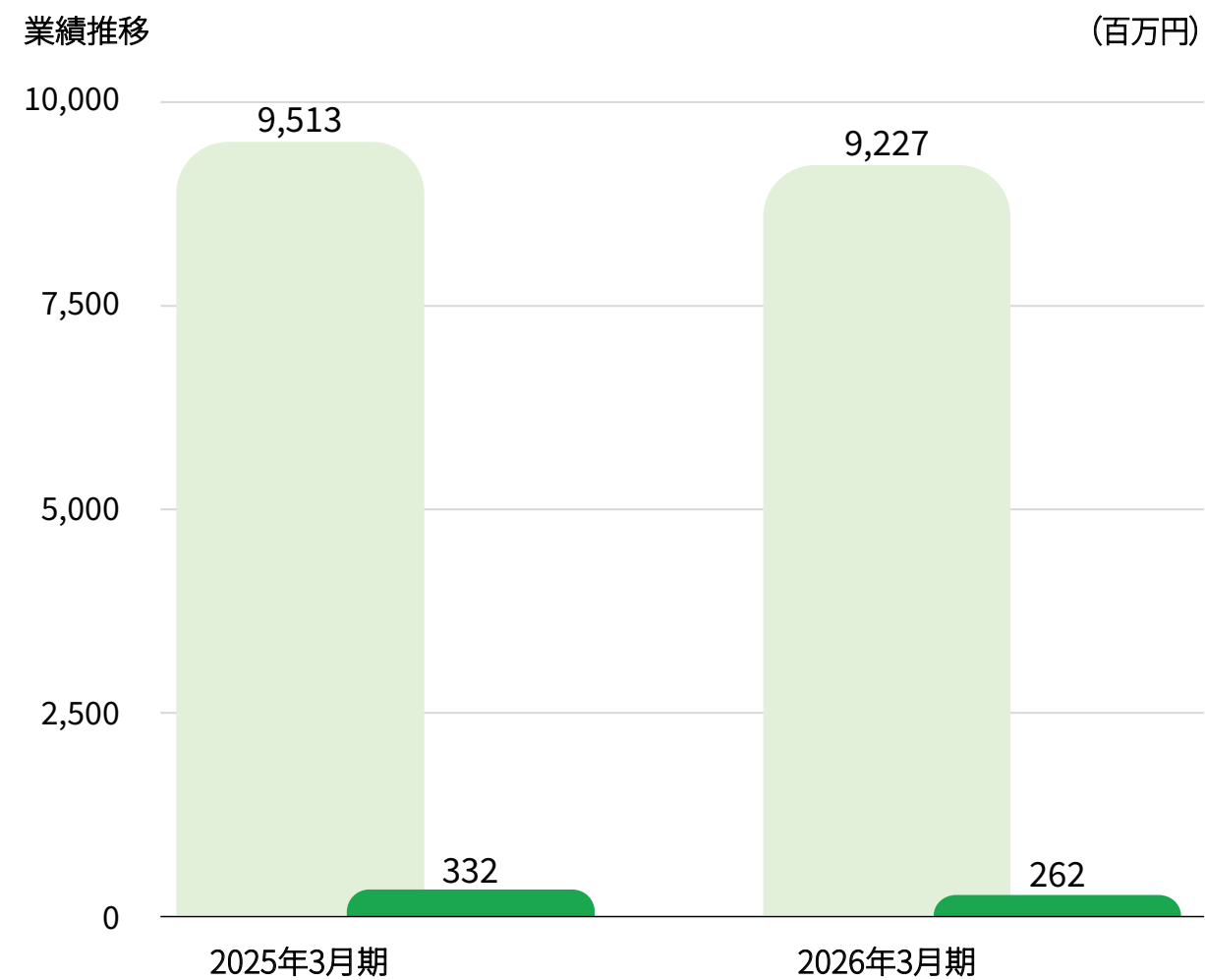


※報告セグメントに帰属していない販売費及び一般管理費は含んでおりません。

02 セグメント別業績



器具器材関連事業

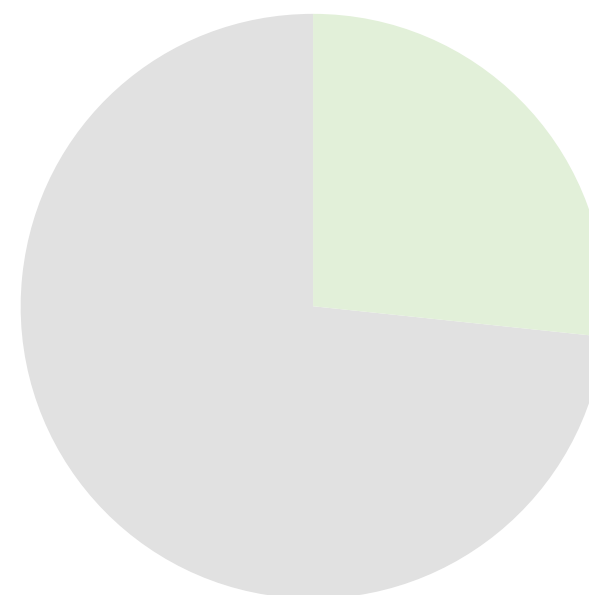


		2025年3月期	2026年3月期	前期比	増減率
器具器材 関連事業	売上高	9,513	9,227	△286	-3.0%
	セグメント 利益	332	262	△69	-21.1%

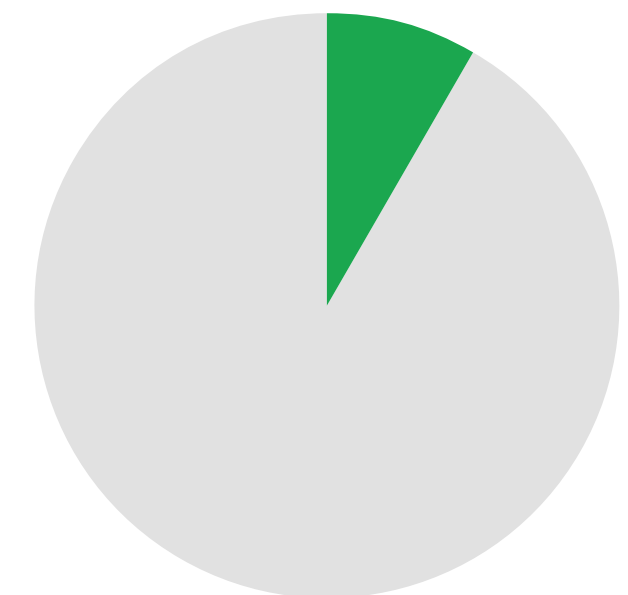
概況

溶接材料は建設業向けに需要が減少、溶接切断器具は大型機械の受注が減少したことにより売上高及び営業利益が減少しました。

売上構成比率
26.7%



営業利益構成比率
8.5%

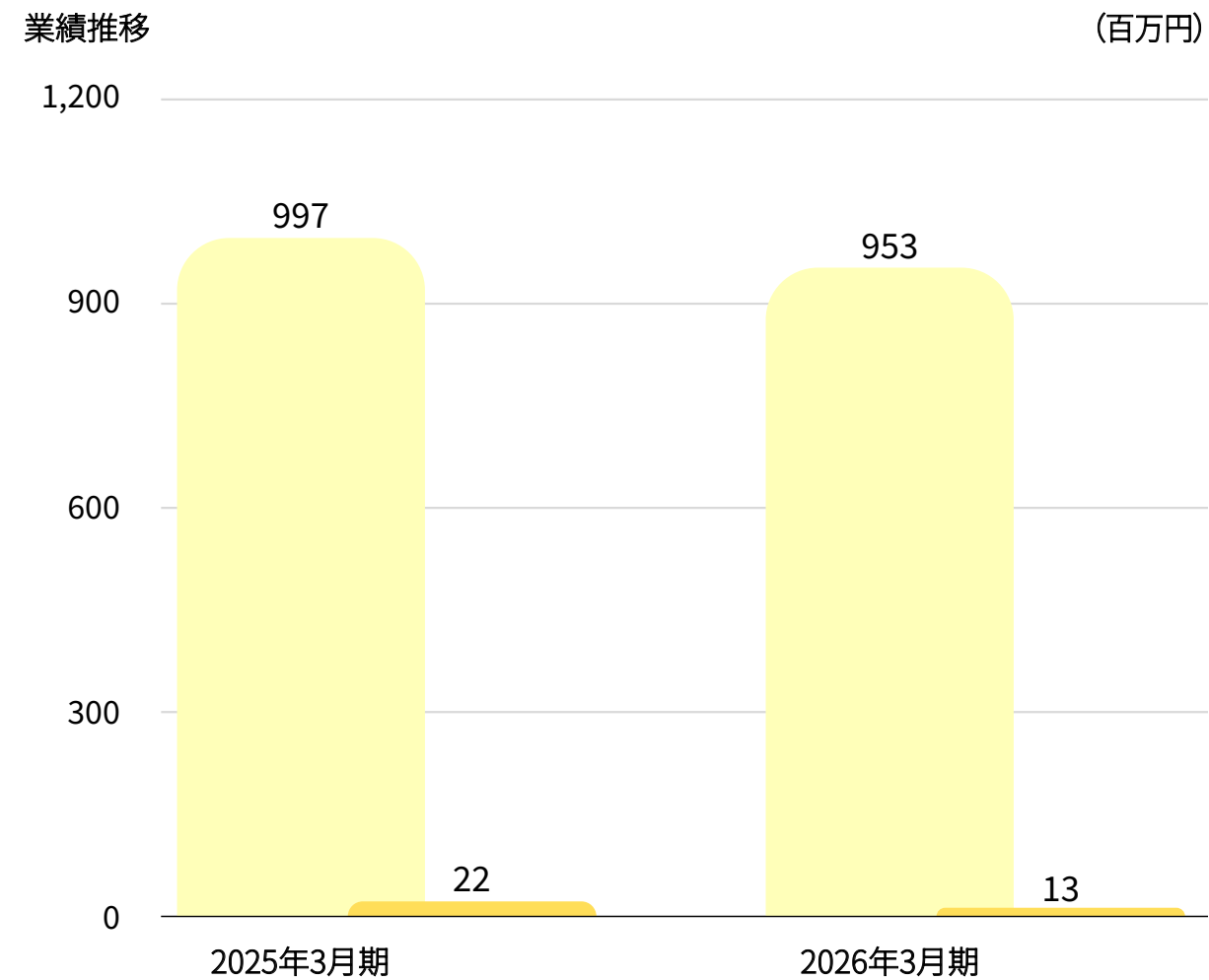


※報告セグメントに帰属していない販売費及び一般管理費は含んでおりません。

02 セグメント別業績



自動車機器関連事業

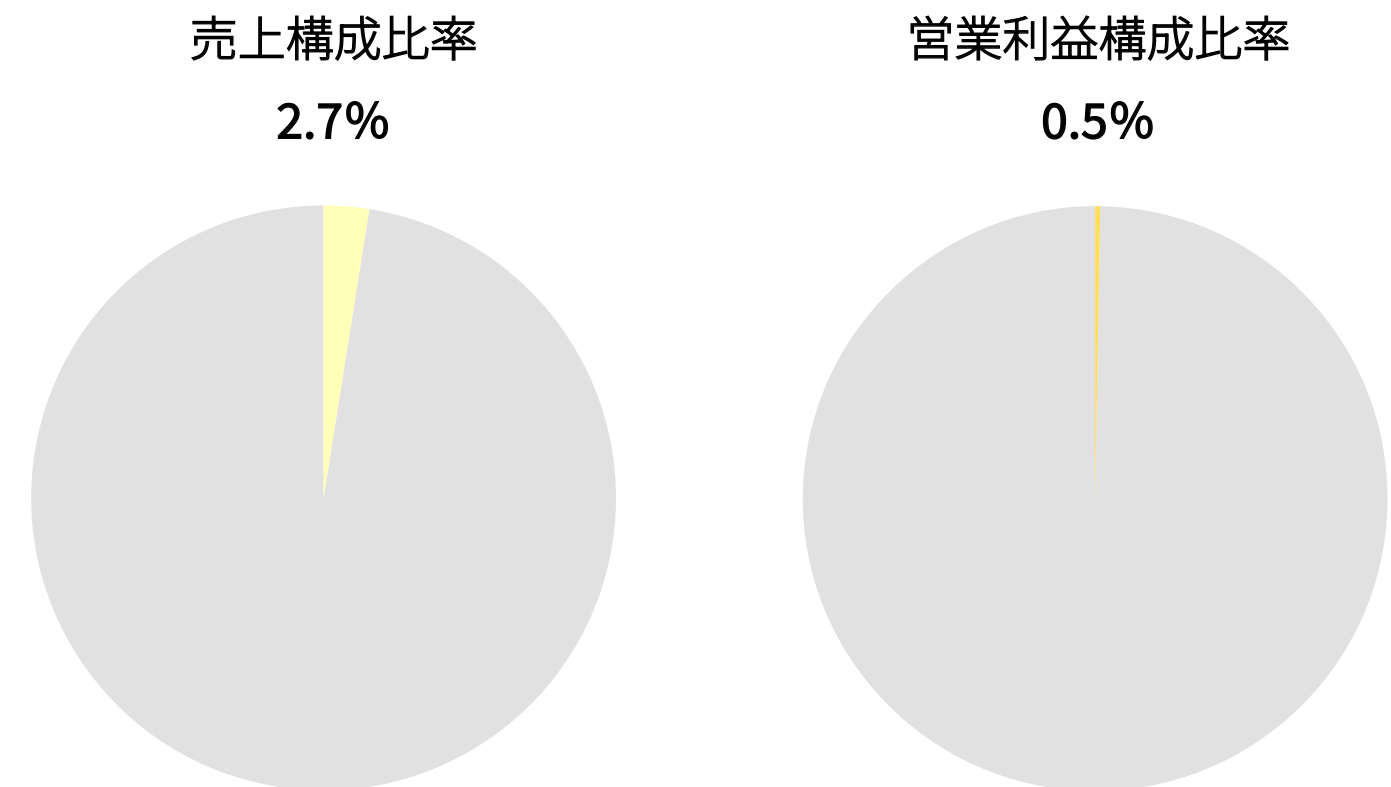


		2025年3月期	2026年3月期	前期比	増減率
自動車機器 関連事業	売上高	997	953	△44	-4.4%
	セグメント 利益	22	13	△9	-41.5%

(百万円)

概況

自動車部品メーカーの国内外の設備投資需要が減少したことにより売上高及び営業利益が減少しました。

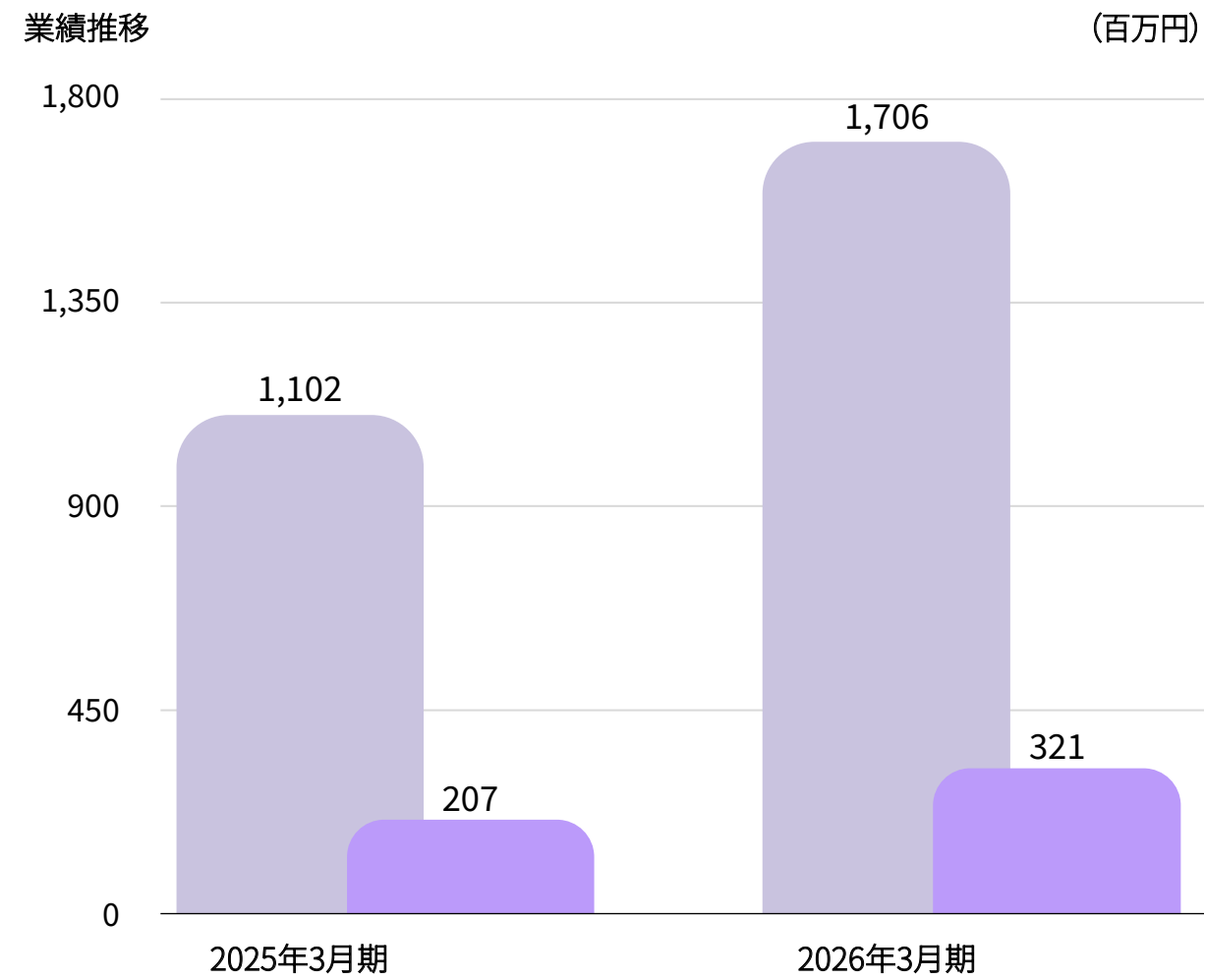


※報告セグメントに帰属していない販売費及び一般管理費は含んでおりません。

02 セグメント別業績



製氷機関連事業



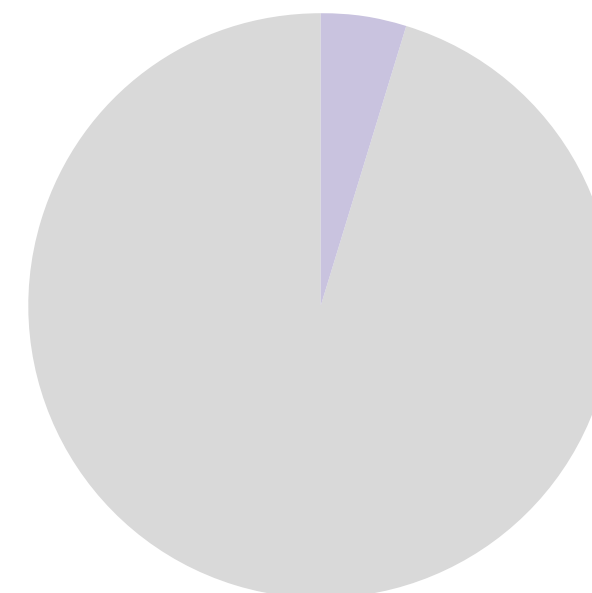
		2025年3月期	2026年3月期	前期比	増減率
製氷機 関連事業	売上高	1,102	1,706	603	54.7%
	セグメント 利益	207	321	113	54.7%

(百万円)

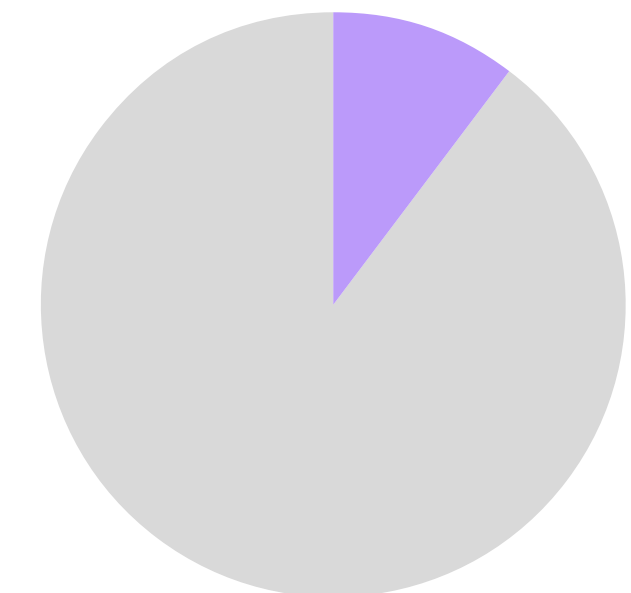
概況

製氷・冷凍機械の大型物件が増加したことにより売上高及び営業利益が増加しました。

売上構成比率
4.9%



営業利益構成比率
10.4%

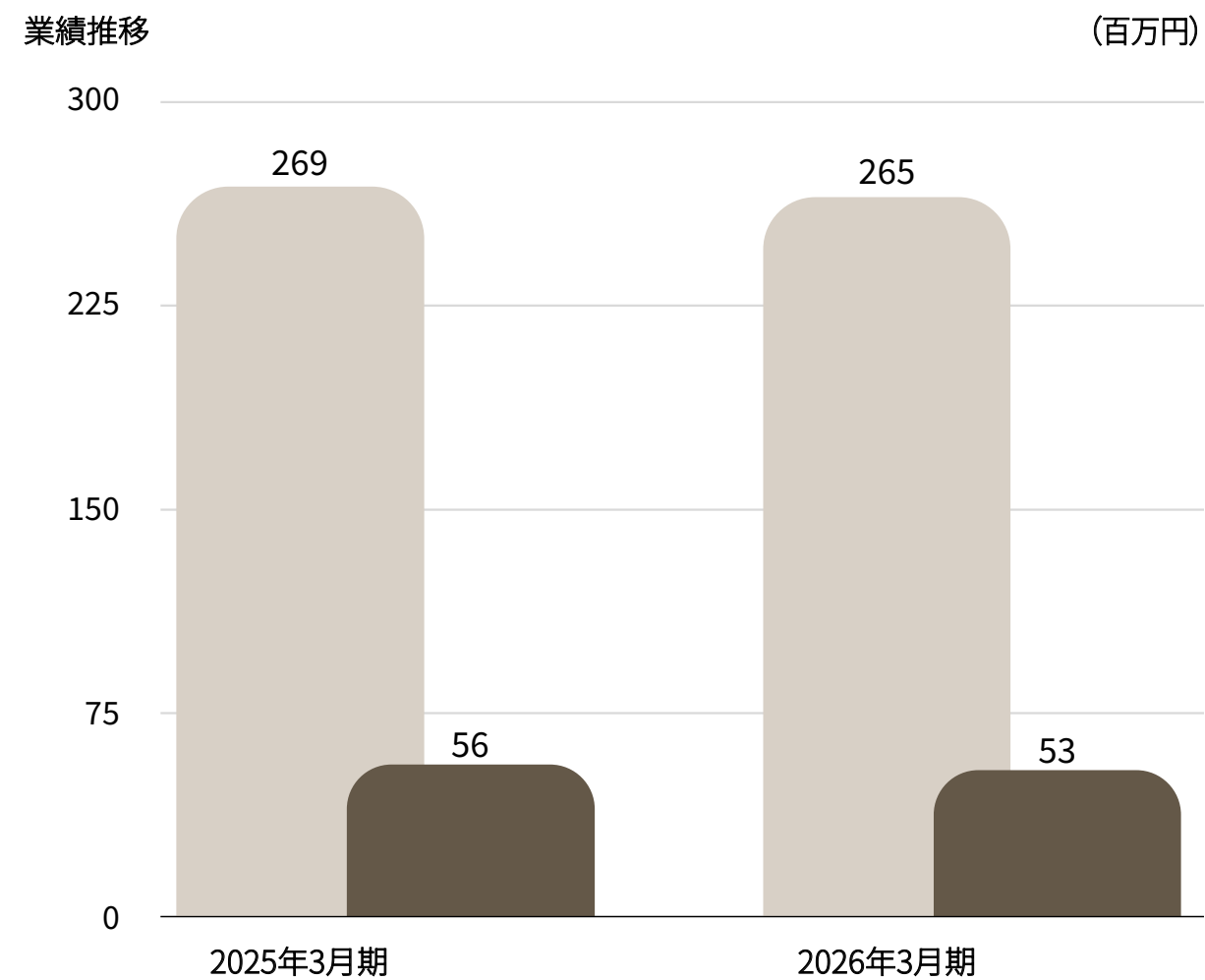


※報告セグメントに帰属していない販売費及び一般管理費は含んでおりません。

02 セグメント別業績



その他



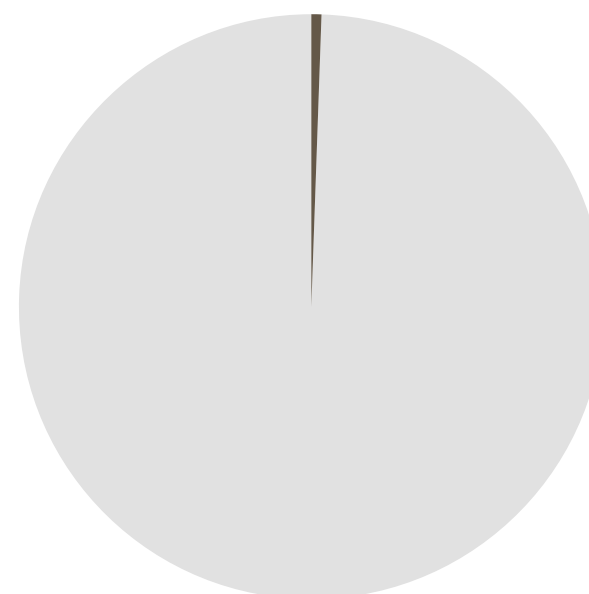
		2025年3月期	2026年3月期	前期比	増減率
その他	売上高	269	265	△4	-1.7%
	セグメント利益	56	53	△2	-5.2%

概況

医療用ガス配管工事が減少したことにより売上高及び営業利益が減少しました。

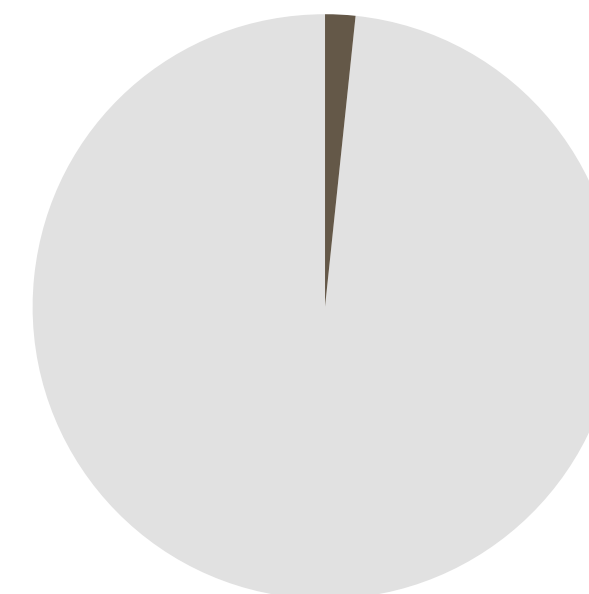
売上構成比率

0.8%



営業利益構成比率

1.7%



※報告セグメントに帰属していない販売費及び一般管理費は含んでおりません。

03 連結貸借対照表

(百万円)

	2025年3月期	2026年3月期	増減額	増減率	
流動資産	現金及び預金	9,495	9,443	△51	-0.5%
	その他流動資産	9,994	9,518	△475	-4.8%
	有形固定資産	10,865	11,628	763	7.0%
	無形固定資産	106	116	9	9.1%
	投資その他の資産	3,180	3,254	74	2.3%
	資産合計	33,642	33,962	320	1.0%

(百万円)

	2025年3月期	2026年3月期	増減額	増減率	
負債	長短借入金	3,348	3,256	△91	-2.7%
	その他の負債	9,901	9,387	△514	-5.2%
純資産	自己資本	18,304	19,142	838	4.6%
	非支配株主持分	2,088	2,176	87	4.2%
	負債純資産合計	33,642	33,962	320	1.0%

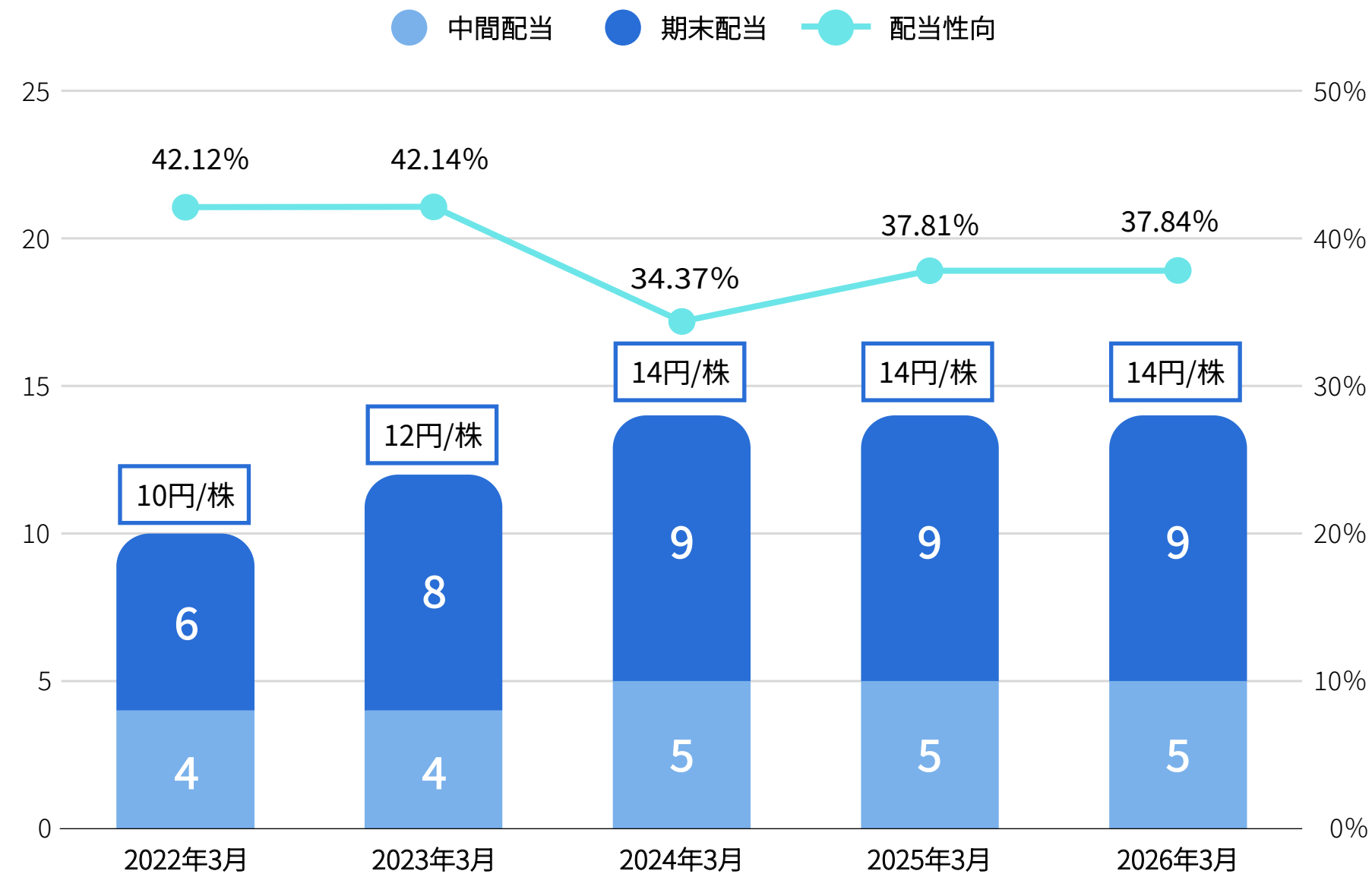
04 連結キャッシュ・フロー

(百万円)

	2025年3月期	2026年3月期	前期比
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,231	2,399	167
投資活動によるキャッシュ・フロー	△993	△1,704	△710
財務活動によるキャッシュ・フロー	△730	△746	△15
現金及び現金同等物の増減額	507	△51	△558
現金及び現金同等物の期首残高	8,987	9,495	507
現金及び現金同等物の当期末残高	9,495	9,443	△51

05 配当金及び配当性向

▶ 当社は、株主の皆様への利益還元を経営の最重要政策の一つとして位置づけており、当社を取り巻く環境の変化、業績及び財務状況を総合的に勘案して、配当政策を決定することを基本方針としております。



※1 当社は2024年1月1日を効力発生日として普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行っております。

2022年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し年間配当金額を記載しております。

※2 配当性向につきましては、連結決算の数値を基に算出しております。

06 通期の連結業績予想

- ▶ 日本経済は緩やかな回復基調にあるものの、エネルギー価格や原材料価格の高止まり、物価上昇や労働者不足による物価上昇に加え、米国の関税引き上げによる市場への影響、ロシア・ウクライナ問題の長期化、中東情勢の不安定化など、事業環境は不確実性の一層の高まりを見せています。

(百万円)

	2026年3月期 実績	2027年3月期 予想	前期比	増減率
売上高	34,576	35,000	423	1.2%
営業利益	1,900	1,900	△0	-0.0%
経常利益	2,109	2,000	△109	-5.2%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,286	1,200	△86	-6.8%
1株当たり 当期純利益	36.99円	34.49円	△2.5円	-6.8%



〔将来の見通しに関する注意事項〕

本資料における当社の今後の計画や見通しは、当社が開示時点で合理的であると判断する一定の条件に基づいており、実際の業績は計画と異なる可能性があります。